

6月は環境月間

6月1日は京急線全線の電力をハマウィングの自然エネルギーで! (鉄道付帯用電力使用量)

横浜市は、SDGs 未来都市の実現に向け、市民一人ひとりの具体的な行動のきっかけとして、また再生可能エネルギーの利用による地球温暖化対策の一環として、風力発電事業を進めています。

横浜市風力発電所「ハマウィング」は、横浜市の環境行動のシンボリック事業として、市債「ハマ債風車^{さいかびくるま}」の発行と国の補助金により建設費を調達し、協賛事業者「Y-グリーンパートナー」の協賛金と売電収入により運営を行っています。

このたび、このうちの一社である京浜急行電鉄株式会社では、「環境月間」の6月に合わせた取組として、協賛事業者による風力発電の自然エネルギーを利用する仕組みを活用し、**6月1日に京急線全線で使用する鉄道付帯用電力(※)を「ハマウィング」による自然エネルギーで賄います。**

(※) 駅舎や踏切・信号等で使用される電力。列車そのものを動かす電力は含んでいません。

ハマウィングの自然エネルギーで賄う仕組み

- 横浜市は、Y-グリーンパートナーに対して、ハマウィングで発電した電力量を記載し、その電力の使用証明となる「グリーン電力証書」を、協賛口数に応じて発行します。
- 今回の取組では、**京浜急行電鉄株式会社が保有するグリーン電力証書の『電力量』を『6月1日の京急線全線における鉄道付帯用電力使用量』に充当します。**



グリーン電力証書

横浜市風力発電所「ハマウィング」の概要

- 【所在地】横浜市神奈川区鈴繫町8-1 (瑞穂ふ頭内)
- 【稼働年月】平成19年(2007年)3月
- 【大きさ】タワーの高さ78メートル
ブレードの長さ40メートル
- 【定格出力】1,980 kW
(年間発電量 約210万 kWh)



【この取組による効果】

- 京急線全線における鉄道付帯用電力使用量は、1日あたり **12万 kWh** になります。
- これを自然エネルギーで賄うことで、**CO₂ 排出量が約 62 トン削減** されます。



裏面あり

「京急環境月間」の取組 (別紙参照)

京浜急行電鉄株式会社では、6月を「京急環境月間」と銘打ち、様々な環境保全と啓発の取組が行われます。「ハマウイング」で発電した自然エネルギーの活用のほか、ノルエコけいきゅんチャリティー商品の販売個数に応じた金額を『横浜市環境保全基金』にご寄附いただく取組などが展開されます。

【横浜市環境保全基金】

環境保全に関する知識の普及や実践活動を支援し、地域に根ざした環境保全活動を展開するため、環境保全活動に関するイベントや環境活動団体に対する表彰制度、環境活動団体への助成制度などに活用しています。



協賛事業者「Y-グリーンパートナー」

(15社) 協賛口数・アイウエオ順

 京浜急行電鉄株式会社	 ファンケルグループ
 株式会社セガホールディングス	 トヨタ自動車株式会社
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	キリン株式会社
工藤建設株式会社	株式会社コンフォートジャパン
J X T G エネルギー株式会社	竹中・西松建設共同企業体
プリンス電機株式会社	横浜倉庫株式会社
横浜農業協同組合	株式会社横浜D e N A ベイスターズ
三菱地所株式会社	

- (1) 契約期限 : 平成 34 年 3 月まで
- (2) 協賛金額 : 1口あたり 100 万円/年
- (3) 応募口数 : 21 口 (募集総口数 25 口) (残り 4 口については、引き続き募集しています。)

【これまでの「Y-グリーンパートナー」との連携による取組事例】

キリン株式会社の取組

醸造所併設の直営レストラン「SPRING VALLEY BREWERY TOKYO」で使用する全ての電力は、グリーン電力証書の活用により、ハマウイングの電力で賄われています。



工藤建設株式会社の取組

今年 3 月 24 日 (日) にグリーン電力証書を活用し、Bリーグ試合会場の当日の全電力を、ハマウイングの電力としてオフセットしました。



夏休み期間には、マークイズみなとみらいにて、ハマウイングやY-グリーンパートナーの取組等をPRするイベントを開催しています。今年 7/27 (土)、28 (日) に開催!

今後も Y-グリーンパートナーの皆さまとともに、再生可能エネルギーの普及に向けた取組を実施していきます。

お問い合わせ先

環境創造局 環境エネルギー課長

大島 貴至

Tel 045-671-2666